No.277 1994年

●日本オペレーションズ・リサーチ学会事例研 究奨励賞(ソフトウェア部門)第 10 回候補 ご推薦のお願い

いまやORの研究・教育・実施においてはソフトウェアが不可欠のツールとなっています。しかも、年々多数の新しいすぐれたソフトウェアが作られていますが、これらは、はたして、広く有効に使われて、世の役に立っているでしょうか。

本学会員の声として、ORに関連するソフトウェアを 紹介し、評価し、会員に知らせてほしい、という要望が しばしば寄せられております。

学会では、このような情勢をふまえ、1985 年度から優秀なソフトウェアの顕彰を実施いたしております。 つきましては、今年度も下記の要領で、広く学会員から募集することになりましたので、奮ってご応募ください。

なお、本賞を、事例研究奨励賞の中のソフトウェア部門といたしましたのは、過去の事例研究奨励賞においてコンピュータ・システムの開発に対する授賞を行なった実績も参考として決定したものであります。

〈募集要領〉

- 1. **賞の名称**:日本オペレーションズ・リサーチ学会事 例研究奨励賞 (ソフトウェア部門)
- 2. **選考の対象**: ORの教育・実務において広くOR学会 貝に役立つもので、次のような対象を想定しておりま す。
 - (1) 教育用ソフトウェア 大学・企業・その他教育機関においてOR教育研修用 のソフトウェア
 - (2) OR技術の先端的ソフトウェア
- 3. 応募資格:本学会の会員(個人に限らずグループや企業も対象となります)
- 4. 応募手続(1) 提出書類
 - ①正会員による推薦状 1部 推薦状は学会所定の用紙とします。
 - ②ソフトウェア機能説明書(A4判3枚以内)5部 機能説明書は学会所定の用紙とします。
 - ③その他参考資料

Input/Outputの例,解説書等の参考資料があれば,各1部添付してください. ただし,提出の義務はあ

- りません.
- (2) 提出先:日本OR学会表彰委員会
- (3) 応募締切:平成6年11月30日(水) 必着
- 5. 表 彰:受賞者には、OR学会総会その他適当な機会 に賞牌を授与するとともに、受賞ソフトウェアの要約 をOR誌に掲載して表彰する。
- 6. その他: (1) 応募するソフトウェアは、広くOR学会 員に役立つことが必要な条件であるため、一般学会員 からの利用の要請を受けたときは、その便に応じるこ ととしてください。ただし、学会は、利用についての 仲介の労をとることはいたしませんから、当事者間で 直接話し合ってください。
 - (2) 受賞にもれたソフトウェアについても, 適当なものについては, 主な機能等の紹介をOR誌に行なうこととします.
 - (3) 応募者は、きたる 10月9,10日に開催される本学会秋季研究発表会のペーパーフェアまたはソフトウェアショウにおいてあらかじめ発表されますようおすすめします。

●研究部会・グループ開催案内

自動車市場の計量分析

日 時:8月17日(水) 18:00~20:00

場 所:東京国際大学国際交流研究所(山手線内側高田 馬場駅前FIビル6F(1Fは東海BK)Tel.03(3205)1677

テーマと講師:「中古車販売における価格設定と販売 チャンス」ト田恭嗣(東京国際大学商学部)

夜店のバナナ売りの如く、期間内にストック品を売り 切る場合、売れ行きを見て段階的に売価を下げる。売 価を下げすぎると安売りになり、下げなければ売れ残 る。DP (動的計画法) による最適な段階的売価決定。

問合せ先:東京国際大学商学部 上田恭嗣

Tel. 0492 (32) 1111 Fax. 0492 (32) 1119

・リエンジニアリング

日 時:8月23日(火) 16:00~20:00

場 所:東京大学経済学部7F第一共同研究室 Tel.03(3812)2111

テーマと講師:「顧客情報システムと業務革新」上田舜三 (東京ガス)

・システムモデリング手法とその活用

日 時:8月27日(土) 14:00~17:00

場 所:九州大学経済学部 2階 207 中会議室

テーマと講師:

- (1)「銀行間格差の時系列分析」 田中謙一郎 (西南学院大学商学部)
- (2)「通信理論における誤り制御への待ち行列理論の 応用」 林田行雄(佐賀大学経済学部)

間合せ先:九州大学経済学部 時永 祥三 Tel.092(641)1101 内 3729 Fax.092(641)7900

●平成 6 年度第 2 回ORセミナー

モダンヒューリスティックス

-- Neural Network, Genetic Algorithm, Simulated Annealing, Tabu Searchの基礎から最新動向まで--

モダンヒューリスティックスとは、Genetic Algorithm, Simulated Annealing, Tabu Search, Neural Network Approachなどの技法の総称で、メタヒューリスティックスまたはメタ戦略(解法)とも呼ばれています。

これらの技法の特徴として、物理学や生物学に何らかのアナロジーがあるという点があげられます。たとえば、Genetic Algorithmは遺伝学、Simulated Annealingは物理学における焼き鈍し過程にメタファーを持ち、Neural NetworkやTabu Searchは人間の脳または短期記憶・長期記憶の概念を利用しています。

また、これらの技法は、AIとORの融合分野として、多くの研究者および実務家から注目を浴びており、CONDOR (Committee On the Next Decade in Operations Research) でも "may have significant potential" と評価されています。

本セミナーでは、これらのモダンヒューリスティック スについて、基礎から最新動向まで、わかりやすく解説 することを目的としています。

OR学会員の方々はもとより、会員外の皆さまにも広くご案内ください。

日 時:9月5日(月) 10:00~17:00

会 場:東京ガス㈱本社2階大会議室

(〒105 港区海岸1-5-20 Tel.03(3433)2111)

オーガナイザー: 久保幹雄(東京商船大学)

プログラム:

10:00~11:50 「Local Search から Simulated Annealing, Tabu Searchへ」

久保幹雄 (東京商船大学)

13:00~14:50「遺伝的アルゴリズムの基礎と展望」 田中健次(茨城大学) 15:00~17:00「ニューラルネットワークの基礎」 甘利健一(東京大学)

協 實: (依頼中) 経営情報学会, 計測自動制御学会, システム制御情報学会, 情報処理学会, 人工知能学会, 精密工学会, 電気学会, 電子情報通信学会, 日本応用 数理学会, 日本機械学会, 日本経営工学会, 日本シミュ

参加費:正・賛助会員22,000円,学生会員5,000円, 非会員30,000円(協賛学協会の会員は正会員に同じ) 申し込み:7月号「学会だより」の申し込み書にご記入

のうえ、OR学会事務局までお送りください。

●第 32 回シンポジウム「生産スケジューリング・シンポジウム'94

〈〈実践的ロジックの開発に向けて〉〉 スケジューリング・ロジックの進歩 スケジューリング・パッケージの現状と展望

厳しい経済情勢のもと、生産スケジューリングに対する関心が高まっています。昨年、名古屋で機械学会が主催した生産スケジューリング・シンポジウムでは、普段は交流のないさまざまな学会で活動している研究者と実務家が一堂に会し、意外性に富む討論が展開されました。

CIMのキー・コンポーネントとしてのスケジューリング

技術の競争と価値観の反省とを促す機会を,今後も多学 会の協力で維持したいと考えます。

今回は、日本OR学会と日本経営工学会が合同で進める「CIM環境下における生産計画とスケジューリング研究部会」が中心になり、『実践的ロジックの開発に向けて』をメインテーマに、上記3つのテーマを柱とした研究発表を企画し、生産スケジューリングの今後の進展について展望します。これらの分野に関心を持つ研究者、応用システム開発者、利用者の方々の幅広いご参加をお待ちしております。

期 日:10月11日(火)

会 場:青山学院大学総研ビル (東京渋谷)

実行委員長:黒田 充(青山学院大学)

主 催:日本オペレーションズ・リサーチ学会(幹事学 会)、日本経営工学会、日本機械学会、人工知能学会、 システム制御情報学会

協質管:

経営情報学会,計測自動制御学会,情報処理学会,人 工知能学会,精密工学会,電気学会,電子情報通信学 会, 日本神経回路学会, 日本ファジイ学会, 日本シミュレーション学会, 応用統計学会, 日本応用数理学会, 日本ロジスティック・システム協会, 日本IE協会, 日本科学技術連盟

参加費:一般 5000 円, 学生 2000 円 (予定)

間合せ先: 〒157 世田谷区千歳台 6-16-1

青山学院大学理工学部経営工学科 黒田 充

E-mail: kuroda@cim-lab. ise. aoyama. ac. jp

Fax. 03 (5384) 6516

●平成6年度秋季研究発表会

日 時:10月9日(日),10日(月・祝) (懇親会)10月9日(日) 午後6時より

会 場:青山学院大学総合研究所(青山キャンパス) (懇親会)本学青山キャンパス正門前『子供の城』ビ ル内「ラブニール」にて

交通案内:

- [JR] 山の手線の渋谷駅または原宿駅下車徒歩約 15 分
- [地下鉄] 銀座線・千代田線・半蔵門線の表参道駅下 車徒歩約5分

参加費:正・賛助会員 6,000 円, 学生会員 2,000 円, 非会員 10,000 円

見学会:NHK放送センターおよびカナダプラス(カナ ダ大使館新館展示場)

実行委員長:阿部俊一(青山学院大学)

実行副委員長:高森 寛 (青山学院大学)

特別テーマ:リストラクチャリング/リエンジニアリングとOR

梅沢 豊教授 (東大) の基調講演に続き、パネルディスカッションを予定しています。また、本特別テーマによる研究発表も歓迎します。

特別講演: 村井 勉氏 (JR西日本・アサヒビール名誉会長・本学会会長): 演題「経営雑感」

袴田 茂樹氏 (青山学院大学教授): 演題「旧ソ連・東 欧諸国の再生をめぐって」

チュートリアルセッション: (AHP法, 遺伝的アルゴリズム, LP内点法などについて検討中)

ORソフト展示: (現在, 検討中)

実行委員会連絡先: 青山学院大学 理工学部 経営工学科 阿部研究室内 〒 157 世田谷区千歳台 6-16-1 Tel. 03 (5384) 1111 内 3505 Fax. 03 (5384) 6500

●他学協会案内

講習会「ファジイ制御ハードウェア」

日 時:8月8日(月) 10:00~17:25

場 所:工学院大学新宿校舎 7 F 0765 教室

主 催:日本ファジイ学会

間合せ先:法政大学経済学部 小沢和浩

 $Tel.\,0427\,(83)\,2534\quad Fax.\,0427\,(83)\,2611$

法政大学工学部 廣田 薫

Tel.0423(87)6241 (Faxも同じ)

申し込み先:〒231 横浜市中区山下町89-1 シイベルへ グナービル 日本ファジイ学会事務局(担当:荒木) Tel.045(212)8253 Fax.045(212)8256

●国際会議案内

1995 IEEEロボティックス・オートメーション国際会議 (協賛)

日 時:1995年5月21日~27日

会 場:名古屋国際会議場

共 催:日本学術会議, 日本ロボット学会, 計測自動制 御学会, 日本機械学会, IEEE Society on Robotics and Automation

問合せ先:〒 464-01 名古屋市千種区不老町名古屋大学

工学部機械情報システム工学科 福田敏男 Tel.052(789)4478 Fax.052(789)3115

E-mail: fukuda@mein. nagoya-u. ac. jp

●公募案内

・電気通信普及財団賞(テレコム社会科学賞・同学生賞、 テレコムシステム技術賞・同学生賞)論文募集

応募締切: 9月30日(必着)

間合せ先:〒105 港区西新橋 1-6-11 西新橋光和ビル (財)電気通信普及財団 (学生) 論文募集係 Tel.03(3470)7518

・専修大学経営学部

募集人員:教授または助教授1名

担当科目:情報管理概論,情報科学特殊講義

応募資格:大学院博士課程終了者,単位取得者,または研究業績・教育歴においてこれに準ずる者で,採用予定日において満50才以下の者.

採用予定:平成7年4月1日

提出書類:履歴書,業績リスト,主要著書・論文 他

応募締切:平成6年9月30日(必着)

間合せ先:〒214 川崎市多摩区東三田2-1-1 専修大学

学長室学務課教員任用係

Tel. 044 (911) 1253

·三重大学教育学部情報教育課程

募集人員:教授1名 專門分野:情報教育

担当科目:情報化社会論,情報管理論,数量化理論,行 動科学の方法,その他主に社会情報コース関係.

応募資格:50 オ以上60 オ位までで、博士の学位を有する者、あるいはこれと同等以上の研究業績を有する者、

採用予定:平成7年4月1日

応募締切:平成6年9月30日(必着)

間合せ先:〒514 三重県津市上浜町1515 三重大学教育 学部情報教育課程 田中啓勝 Tel.0592(31)9308

E-mail: htanaka@edu. mie-u. ac. jp

社団法人日本工学会主催

第25回国際会議のための準備セミナー

----- 英語によるプレゼンテーションの実際*---*-

国際会議で発表する予定のある方、英語によるプレゼン テーション能力の向上を図りたい方に最適なセミナー

日 時:9月3日(土)・4日(日)

会場:OVTA-幕張

海外職業訓練センター 千葉県美浜区ひび野1-1

参加費:80,000円 宿泊費:18,000円

定 員:18名

参加申込みおよび詳細問合せ先:

〒107 港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル

社団法人 日本工学会

Tel. 03 (3475) 4621 Fax. 03 (3403) 1738

平成6年度役員・支部長名簿

理事 会 長 村井 勉(JR西日本・アサヒビール)

』 副 会 長 忍田 和良(日通総合研究所)

" "柳井 浩(慶應義塾大学)

" "梅沢 豊(東京大学)

庶務紀 一誠(日本電気)

" 森清 堯(電力中央研究所)

ッ会計 勅使河原可海(日本電気)

" 研究普及 森戸 晋(早稲田大学)

" 中野 一夫 (構造計画研究所)

"編集森雅夫(東京工業大学)

" 『 高橋 幸雄(東京工業大学)

· 国 際 大山 達雄(埼玉大学大学院)

無任所澤木 勝茂(南山大学)

理事 無 任 所 尾崎 俊治 (広島大学)

" // 小金澤章吾(JR西日本)

" " 若山 邦紘(法政大学)

監事 伊藤 忠雄 (東レ)

亀山 三郎 (中央大学)

支 部 長

北海道支部 猿谷 厚朋(北海道電力)

東 北 支 部 佐藤 晃郎 (東北電力)

中 部 支 部 澤木 勝茂(南山大学)

関 西 支 部 茨木 俊秀(京都大学)

中国・四国支部 尾崎 俊治(広島大学)

九 州 支 部 村上 周太(九州工業大学)

正会員 5,000人へ向けて!!

会員増強キャンペーンの展開

(庶務幹事会)

創立40周年はもう間近かです。(1997年)21世紀 を目前に世の中は大きく変わりつつあり、OR学 会の各分野におけるその使命もますます重要にな るものと思われます。

学会諸活動の活発化・活性化の根底、基盤にあ

るのが、学会を支える会員の数であることは言う までもありません。

この機会に会員倍増運動を展開いたしましょう。 会員1人が1人を推薦し、創立40周年は、倍増し た構成メンバーでその記念日を祝いたいものです。